

# 笑顔あふれる学校

## 北京五輪と卒業式

競技以外の部分でも、いろいろと話題になった大会でしたが、日本の選手の活躍を見ることができ、感動をもらいました。その感動は、選手が大舞台に立つまでの努力を知れば知るほど深まります。選手が、競技後に涙することの中には、今まで積み上げてきた沢山の努力を思い返し、感動を覚えていることがあるのではないのでしょうか。

3月18日には卒業式を迎えます。卒業証書授与では、6年生一人一人が主役となります。6年間積み重ねてきたことを思い返し、感動できる式になればと思います。



## 4年生 琴体験（2月16日）

講師として琴の先生である岩田様らをお招きし、琴に触れる体験を行いました。

子どもたちは、先生に教わりながら弦を弾いて音を出したり、弦を押さえることで音程を変えたりしていました。終わりには、「さくらさくら」を弾き、琴の音色を楽しんでいました。

琴体験は、日本の文化・音楽に触れる体験として、毎年行っています。このような体験活動は、これからも続けていきたいと思えます。



## 6年生 選挙出前トーク（2月18日）

社会科の一環として選挙について学びました。知立市役所の方から選挙についての意義、仕方などを聞いた後、実際の選挙に使う道具を体育館に配置し、模擬投票を行いました。

小学校6年生の子たちは、あと6年で選挙権を有します。また、若い人たちの投票離れも、選挙があるたびに耳にします。その理由はいろいろあるかと思えます。今回の授業が、今後、選挙や政治を考える一助になればと思います。



## 知立小学校開校150周年に向けて

知立小学校は、令和5年度に開校から150周年を迎えます。150年より前にも池鯉鮒大明神別当惣持寺にて、寺子屋として存在していたのですが、明治5年の学制頒布以降、了運寺に教室ができた時を知立小学校の開校としています。

これからの学校だよりで、少しずつ本校の歴史を紹介していきます。

【開校 名称は「知立小学校」ではなく「第二大学区内第七番中学区内第二十三番小学知立学校」】

本校は、明治6年9月24日、「第二大学区内第七番中学区内第二十三番小学知立学校」として、了運寺庫裡を仮教室として創立されました。詳細は不明であり、児童数も極めて少数だったようです、特に女子は1～2名で、男女共学だったといえます。後に旧小松寺、宝蔵寺も充用されました。



【了運寺】



【了運寺庫裡】



【小松寺（旧）】



【宝蔵寺】